

市立病院の 糖尿病教室に

参加しよう

!!!



1 毎月2回程度
平日15時～開催中

さまざまな職種の
専門スタッフが
サポート！

1. 糖尿病教室で無料血糖測定を受ける参加者 2. 講義中に、検査に関する質問に答える技師

！ 増えている
糖尿病患者

江別市国保に加入する被保険者2万8948人のうち、糖尿病患者は1万557人を数え、生活習慣病（高血圧症・脂質異常症・糖尿病・肥満など）患者数の中で一番多くなっています（※1）。

全国では、糖尿病が強く疑われる者（糖尿病有病者）は約950万人、糖尿病の可能性を否定できない者（糖尿病予備群）は約1100万人、合計で約2050万人と推計され、男性の27・3%、女性の21・8%が糖尿病有病者かその予備群であると示されています（※2）。

糖尿病は私たちにとって、とても身近な病気です。

！ 怖い「合併症」

糖尿病の初期は自覚症状が現れないため、気づかないう

ちに、または気づいても症状がなく治療をしないことで、病気が進行し、合併症を引き起こしてしまうことがあります。糖尿病の合併症の中には、ひどい場合は失明・腎不全・足の壊疽（からだの組織の一部が腐敗した状態）などをもたらす網膜症・腎症・神経障害などがあります。また、動脈硬化を引き起こすこともあり、脳梗塞や心筋梗塞などの原因となる危険があります。

！ 糖尿病教室で正しい知識を

合併症を予防するためにも、適切な治療を行い、血糖などを良好にコントロールす

！ さまざまな職種
の専門スタッフが支援

市立病院の糖尿病教室の特徴は、さまざまな職種の専門スタッフから講義を受けられること。医師（総合内科、循環器科、眼科）をはじめ、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師、看護師の

こんなお話が聞けます

医師：糖尿病がどんな病気なのか、原因や合併症・診断方法・治療法など。

管理栄養士：食事療法を説明。適正なエネルギー摂取量、必要な栄養素、バランスの良い食事・食べ方・順番などで血糖コントロールをよくする工夫など。

薬剤師：薬物療法を説明。糖尿病の薬の種類や効果・飲み方・副作用・注意点、インスリンとは何か・インスリン注射の使い方など。

理学療法士：運動療法を説明。なぜ運動したほうが良いのか、運動の種類・強さ・頻度・注意点など。

臨床検査技師：糖尿病の検査を説明。検査の種類や内容・目的や検査結果の見方など。

看護師：フットケア（足の手入れ）を説明。足を守るために観察する方法・手入れの方法・日常生活での注意点など。

（資料）※1平成26年江別市国保生活習慣病レセプト分析、
※2厚生労働省の平成24年「国民健康・栄養調査」

全6職種で、各回を担当します。その場で気になることなどを直接質問することができ、また、希望者は、血糖値測定も受けられます。測定は臨床検査技師が行い、その場で検査数値の見方の説明を受けられます(測定は定員制)。

！誰でも参加できます

糖尿病教室は、患者さんやご家族だけでなく、糖尿病について関心がある方など、どなたでも参加できます。4か月で一通り専門の講義を受けることができますが、自分の興味がある1回のみ参加でもかまいません。ぜひ一度教室に参加してみませんか。

気軽に参加を

糖尿病教室・事務局の管理栄養士さんにインタビュー

市立病院の糖尿病教室は平成20年2月から始まり、27年12月までに計178回の教室を開催してきました。

当初の担当は医師と管理栄養士だけでしたが、現在は6職種の専門スタッフがそろっています。これほど多くの専門スタッフから糖尿病の話や聞けることはなかなかないと思いますので、診察では詳しく聞けなかったことなども



管理栄養士 笹田 康子さん
管理栄養士 藤川 里美さん

ぜひこの教室でたくさん質問してもらえればと思います。「ご家族に糖尿病患者さんがいる方、血糖コントロールがうまくいかない方、少しでも興味がある方など、誰でも気軽に参加してみてください。」

2月の糖尿病教室 (無料・申込不要)

- ① 2月12日(金) 15時～16時
「高血糖にならない食事」(藤川管理栄養士)
「インスリンについて」(小松薬剤師)
- ② 2月26日(金) 15時～16時
「運動療法」(山田理学療法士)
「グループワーク：生活習慣」



場所：市立病院2階講義室
※開始15分前から希望者は血糖値測定が受けられます。

【詳細】市立病院診療技術部
管理栄養士 382・5151 (内線 6821)

**市立病院 入院医療費の
計算方法が変わります**

江別市立病院は、医療の標準化と透明化により患者さんに提供する医療の質の向上を図ることを目的とした制度(DPC)による入院医療費の計算方式を平成28年4月から導入します。

◆DPCとは

市立病院の現在の入院医療費は、診療内容に応じた医療費を決定する「出来高方式」で計算を行っています。DPCは、Diagnosis(診断) Procedure(診療行為) Combination(組み合わせ)の略で、病名や診療内容に応じた分類をもとに1日当たりの医療費を計算する「包括評価方式」の仕組みです。分類ごとに入院期間に応じた医療費が決まられています。

◆DPCによる計算方法

すべてが包括になるわけではなく、手術・麻酔、リハビリテーション料、人工透析などは出来高で算定します。内視鏡検査など一部の検査、食事代、個室の料金も包括にはなりません。一方、投薬、注射、処置料、画像診断、検査

(一部を除く)や入院基本料は包括評価方式での計算となり、これに出来高算定での合計を加えたものを入院医療費とします。

医療費は、病名や診療内容により決まるため、従来よりも高くなる場合も、低くなる場合もあります。入院中の病名変更により、請求時に差額調整を行う場合もあります。あらかじめご了承下さい。

◆DPCの対象となる方

一般病棟へ入院される患者さんが対象となります。労働災害、自賠責保険適用の方や病名が診断群分類に該当しない方など、一部例外もあります。

また、診断群分類ごとに定められた入院期間を超えた場合は従来の出来高方式での計算となります。平成28年4月1日以降に入院される患者さん(例外を除く)はDPCでの計算となりますが、平成28年3月31日以前に入院し、4月以降も引き続き入院される患者さんは4月・5月分は従来の出来高方式で、6月以降をDPCで計算します。

◆その他

入院手続きの方法やお支払い方法について変更はありません。特定疾患をお持ちの方の公費や高額療養費制度の扱いも従来と変わりません。

【詳細】市立病院医事課医事係
382・5151

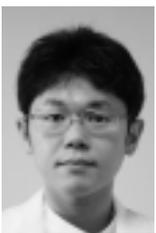
新任医師紹介

①所属②所属学会③ごあいさつ



まつばら ゆう
松原 悠

①消化器科 部長
②日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会
③胆膵領域を中心に、消化器について学び、経験を積んできました。専門健康増進のお役に立てるよう頑張ります。



こだて ひであき
小館 英明

①産婦人科 部長
②日本産婦人科学会、日本周産期・新生児医学会
③専門医取得から日が浅いですが、より良い医療を提供できるよう頑張ります。当院では腹腔鏡下手術も行っていますので、手術希望の方は一度受診をおすすめします。